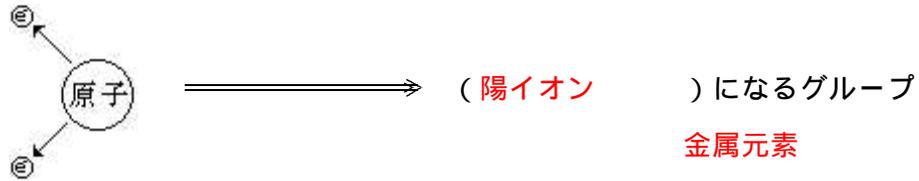


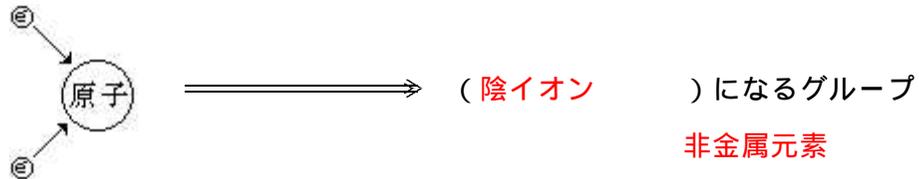
===== イオン結合以外の結合のしかた =====

A 最外殻電子（価電子）の数による原子のグループ分け

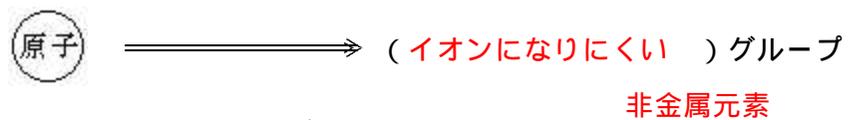
最外殻電子の数が1個か2個のグループ・・・Li, Na, K, Ca, Mg



最外殻電子の数が6個か7個のグループ・・・F, Cl, Br, O, S



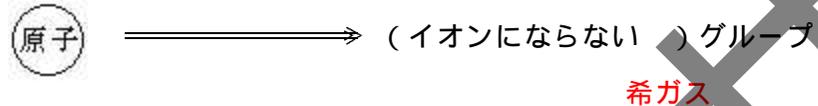
最外殻電子の数が3個か4個か5個のグループ・・・B, C, N, Si



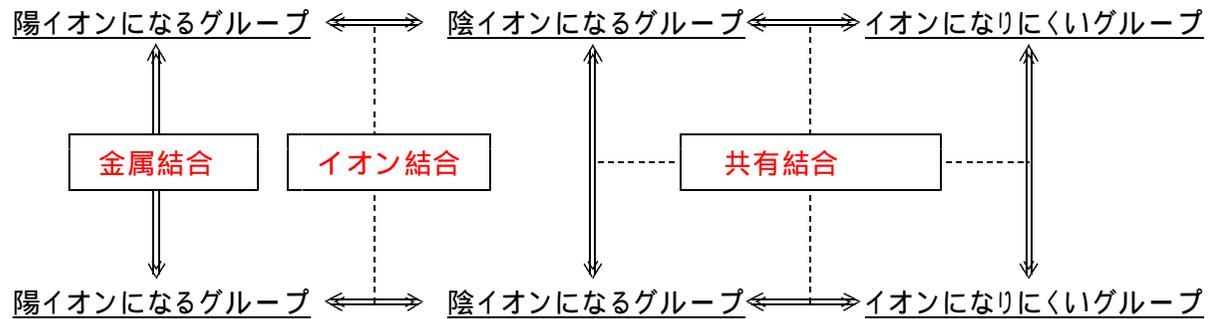
例外として（水素元素 H）がある。



最外殻電子の数が8個（K殻では2個）のグループ・・・He, Ne, Ar, Kr



B 結合のパターン（大きく3つに分類できる）

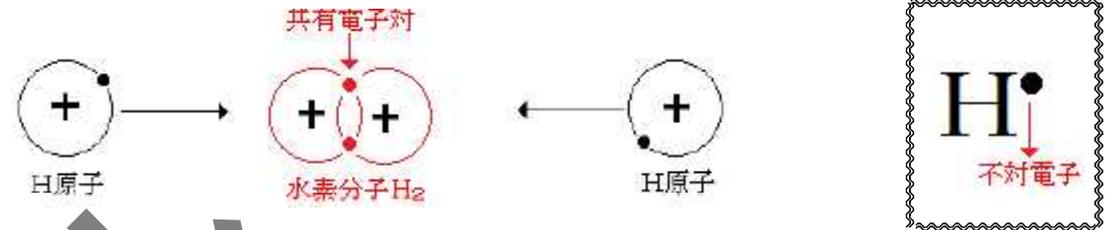


化学結合のルール・・・結合により、互いに安定な電子配置になる（最外殻が8個）

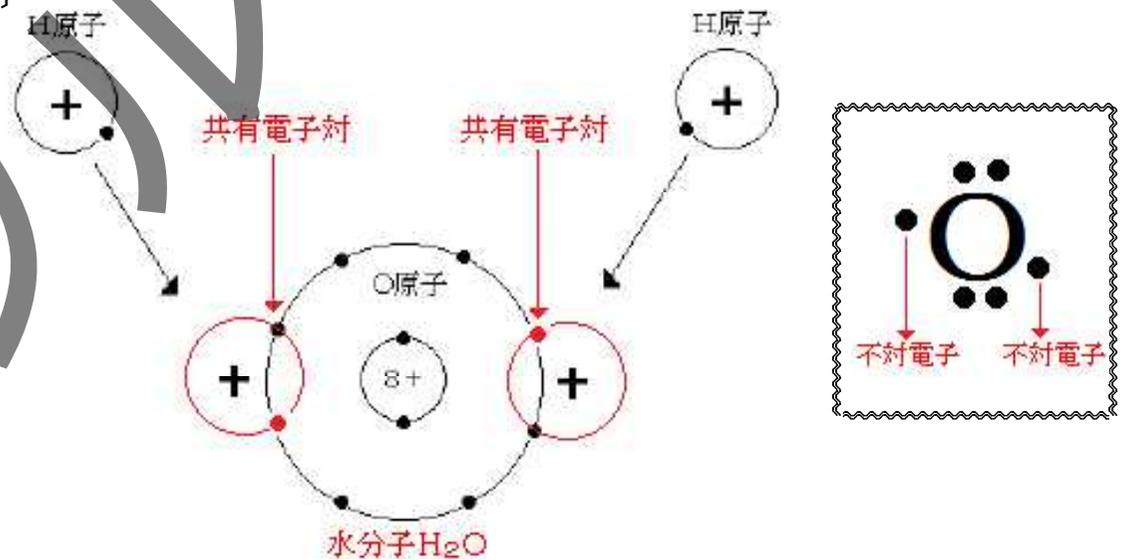
2 分子と共有結合・・・その1

- イオン結合のイメージ  
余った電子を持つ原子（陽イオンになりたい）  
↓（電子を貸してあげる）  
電子の足りない原子（陰イオンになりたい）  
貸借関係
- では、電子が足りない原子どおしが安定な電子配置になるには、どうするか？  
互いに電子を出して共有財産にする（電子を共有する）  
共同出資

〔例1〕

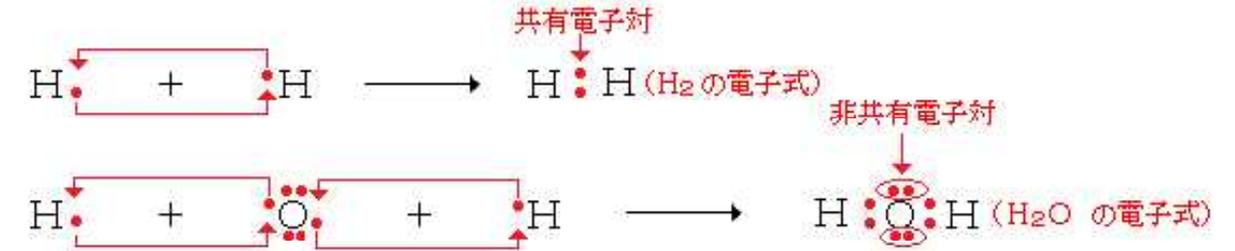


〔例2〕



共有結合とは・・・原子どおしが互いに不対電子を共有しあい、共有電子対を作って結びつく結合

A 価電子を用いた表し方・・・（電子式）という



B 共有電子対（:）を線（-）で示す表し方・・・（構造式）という



結合の手（-）を（価標）という